

★E4限定記事

フリーソーラープロジェクトを推進

デンカシンキ、NTTスマイルエナジーとパートナー契約

2018年2月2日（金）（愛媛新聞 E 4 編集係）

シェア ツイート LINEで送る 文字 小 大

印刷 保存

太陽光発電機の製造・販売のデンカシンキ（松山市）と太陽光発電遠隔監視サービスを販売するNTTスマイルエナジー（大阪市）は2月1日、ビジネスパートナー契約を締結した。デンカシンキが2016年10月に始めた個人住宅向け太陽光無償設置事業「フリーソーラープロジェクト」で、一戸建て住宅に設置する太陽光発電の機器や設置の費用をNTTスマイルが負担し、同社の所有とする形で普及拡大を進める。NTTスマイルは、住宅オーナーが支払った電気使用料と余剰電力の売電料の累計が一定金額を超えた後、オーナーに無償譲渡する。



デンカシンキが2016年10月から募集開始した同プロジェクトは、住宅オーナーの費用負担なく太陽光発電システムを設置。オーナーが支払う電気使用料と余剰電力の売電料の累計が設備譲渡ライン（約200万円）に達した時点で、発電システムはオーナーに無償譲渡されるという新たなビジネスモデル。2018年1月現在で約800件の契約があり、その内の半分は愛媛県内という。

ビジネスパートナー契約により、機器や設置の費用をNTTスマイルが負担し、同社の所有とする。デンカシンキは販売、設計・施工、請求、保守などの事業運営全般を担う。オーナーからの電気使用料はデンカシンキの子会社・坊っちゃん電力（松山市）を通じてNTTスマイルに支払われ、余剰電力はNTTスマイルが電力会社に売電する。NTTスマイルが初期投資を全額負担することで、デンカシンキの投資額を抑制し、事業拡大につなげる狙いがある。

デンカシンキの担当者は「今後は、四国に加え九州や中国地方にも支店の設立や代理店募集するなど力を入れていく。2020年3月までに契約件数2万件を目指しており、再生エネルギーの更なる普及拡大に努めていきたい」と話している。同社は、発電システムの無償譲渡までの期間を9年程度と想定し、その間にオーナーが支払う電気使用料は、太陽光発電システムを導入していない場合と同程度と見ている。

また、NTTスマイルは、発電量や電気使用量、売電量などを遠隔でモニタリングできるサービス「エコめがね」を各オーナー宅に提供する。

キーワードで関連記事を検索できます

松山市（場所）

エネルギー

坊っちゃん電力

関連企業チェック

(株)デンカシンキ